

# 10年のあゆみ



社会福祉法人 かなえ かい 会

かなえ



## かなえ 鼎会とは

かなえ  
「鼎」とは古代中国で食べ物を煮炊きするのに使われた金属の器で、帝位の象徴とともに、安定の意味を持ちます。また、大切なものを支え合うという協調性を表した言葉でもあります。地元の医師・歯科医師・薬剤師が協力し合い鼎会を設立し、スタッフと共に、高齢者とその家族の方を援助していくことを基本理念としています。

## 鼎会理念

- 1、優しさとたくましさを備え、人間尊重を基本とした、サービス提供を行います。
- 2、提供事業を通して地域社会に貢献します。
- 3、常に真摯に研鑽を行い、利用者へ還元します。
- 4、協調と協力を旨とし、全員で高齢者とその家族の方を援助します。

## 鼎会設立理事



小林 元壯



塩田 満哉



都志見 格



寺園 崇



中村 芳生



西岡 義幸



早野 元晴



藤田 秀敏



山田 輝城



山元 祥輝



脇田 雅人



渡辺 宗男



## 開設10周年にあたって

理事長  
中村 芳生

早いもので、平成23年3月で開設10周年を迎えます。

法人としては、平成12年11月10日に社会福祉法人「鼎会」設立の認可を頂き11月27日に法人登記をいたしました。

「鼎会」誕生のエピソードを回顧すると感慨深いものがあります。

医師、歯科医師、薬剤師、合わせて12名というちょっと変わった理事構成。まして10年前は全員若手と言われた30代、40代でした。理念としては一点の曇りもありませんでしたが、色々なご指摘を頂き、また既にご逝去された方々もおられますが、色々なご支援を頂き、正に皆が作った「鼎」ではないかと思えます。多くの市民の方々や関係各位に感謝申し上げる次第です。

措置から契約へと制度が大きく変わる介護保険制度のスタートの時期とも重なり、10年先、20年先を見据えて施設を作ろうとしてきましたが既に10年を迎え、将来を見据えらるとともに反省もしていかなければいけない時期にまいりました。

これからの課題といたしまして、さらなる超高齢化を迎えるとともに、介護保険制度の改正もあり、取り巻く環境は厳しさを増していくものと思われまます。安定した施設運営をしていくと共に、ご利用者の方々に満足頂くという命題に応えるべく努力していく所存です。そのためには、職員一同鼎会理念にもあります、

1. 優しさとたくましさとを備え、人間尊重を基本とした、サービス提供を行います。
2. 提供事業を通して地域社会に貢献します。
3. 常に真摯に研鑽を行い、利用者へ還元します。
4. 協調と協力を旨とし、全員で高齢者とその家族の方を援助します。

を職員一同、初心に戻りまして実践できるよう努力してまいりますので、関係各位のさらなる御支援御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



## 開設10周年に寄せて

前施設長

村中 由喜子

「鼎会」設立までには、理事の方々には色々とお苦勞がお有りでしたがここに開設10周年を迎えられ心よりお祝いを申し上げます。

施設長として約9年間勤めさせて頂きましたその間特に心に残った事を記させていただきます。

### ○屋上の菜園について

屋上に50坪の菜園があります。利用者の方が車椅子で参加出来る様設計されたのですが開設当初は、まず土作りから取り掛かりました。生ごみを処理した肥料を使用し、四季の花や野菜を栽培し、散歩コースとして又収穫された野菜は食材の一部として使用しています。

### ○ユニットケアについて

平成14年3月1日にユニットケアの施設として開設しました。ユニットケアの経験者も殆どなく研修会参加、施設見学、物品整備など緊張の毎日が続きました。

平成15年6月に個室2ユニットが正式にユニットケアとして認められました。平成16年1月にユニットケアの生みの親でもあり第一人者の武田和典氏が来訪され指導を頂きました。

氏は、各ユニットを回られ、ケアマネージャー、介護主任、リーダーに具体的にアドバイスを頂き次回の来訪までに宿題を頂き、少しずつ施設が生活の場として変わっていきました。3回目の来訪後ユニットケアについての講演をして頂きました。ハード面と真のサービス精神の大切さを学びユニットケアを進めました。

### ○福祉サービス第3者評価受審について

平成20年1月受審し、概ねよい評価を頂きました。施設が取り込むべき課題も明確になり受審をきっかけに地元自治会に入会し地域とのつながりの糸口となりました。

私自身は管理職として大小様々な反省点もあり、責務が十分果たせなかった事を心苦しく思っています。在職中皆様の御協力に感謝し、「鼎会」が地域に無くてはならない施設であります様お祈りして筆を置きます。



## 「社会福祉事業 かなえ」 開設10周年を迎えて

施設長  
山本 光信

「特別養護老人ホームかなえ」が開設されて早10年が経過すると聞き、私自身非常に感慨深いものがあります。

と申しますのも、“高齢者とその家族の方を援助していく”と言う熱い志を抱く地元の医師・歯科医師・薬剤師（12名）の先生方が『介護保険制度』のスタートした平成12年に「社会福祉法人鼎会」を設立された当時、私は岩国市の介護保険室長として勤務しており、翌平成13年には高齢障害課長として、直接「特別養護老人ホームかなえ」の建設に関わった経緯があります。

しかし、こうしたこと以上に、当時、「特別養護老人ホーム」を開設する社会福祉法人を岩国市が公募し、応募のあった6法人の中から設置者が「鼎会」に決定するまで、市議会での紛糾や大規模な市民集会が開催される等々、過去に類をみない様々な出来事があったからかも知れません。

また、私は「鼎会」と不思議な縁があることを強く感じています。

定年を控えた平成20年11月のある日、突然、中村理事長、渡辺理事から「退職後、かなえに来てくれないか？」とお誘いの声がかかり、「福祉関係職場を離れて7年が経過する私に何故？」「何を求めての誘いか？」等、様々な戸惑いもありましたが、お二人と話をする過程において、「どこまで期待に応えられるかわからないが、自分なりに精一杯頑張ってみよう。」との気持ちが固まり、平成21年4月から副施設長として働かさせていただくことになりました。

また、開設当初から施設長としてその重責を十二分に果され、現在の「かなえ」の礎を築かれた村中さんが本年3月に勇退されたことを受けて、4月から施設長の大役を仰せつかりました。

開設10周年という節目を迎えた現在、「特別養護老人ホームかなえ」の施設長として、改めて鼎会理念であります『提供事業を通して地域社会に貢献します。』を施設を挙げて日々実践していきたいと考えております。

皆様方の御指導・御鞭撻を引き続き賜りますようよろしくお願い申し上げます。



## 生活相談課

副施設長  
末 廣 美子

早いもので「かなえ」が開設されて10年、私も「かなえ」に就職させて頂いて10年が経過しました。

開設当初は居宅介護支援事業所で介護支援専門員として在宅の方が住みなれた自宅で生活が続けられるようにお手伝いをさせて頂いておりました。自分自身とてもやりがいを感じておりましたが、その後、特養の生活相談員という考えたこともない部署への異動を命じられ戸惑いながらも、介護支援専門員とは違った関わり、業務の中で、入所者様、ご家族様と施設の架け橋になれるようにと心がけてきました。

開設当初から現在まで私を含めて9名の生活相談員が在籍しておりました。それぞれに対応など違いはあるとは思いますが、「入所者様、ご家族様にとって過ごしやすい施設を!」という思いで日々業務しております。

これからも、皆様にとってよりよい施設となりますよう職員一同努力していきたいと思っております。



## 施設介護支援専門員

介護支援専門員  
杉 本 久 美 子

一人一人の生活を支援していくケアをということで、ユニットケアを行っている施設見学にいき、どう実現していくのか考えた。時にはユニットケアという言葉に迷ったり、10人おられれば10人の生活があり、どの方も大切にどう支援したらよいのか悩む事もあった。しかし先輩が10年かかる、とにかく一緒に働く人たちが困ったときは力になってくれるから、困難があっても前へ前へ進みなさいと何かと声をかけてくれた。

そして、私は常に10年先を見て歩いてきた。もう少しで10年。介護保険制度の改正に伴う事や個別のニーズに応じて、様々な事を理事の方々の専門的知識の力をお借りしながら、ご本人、ご家族、「かなえ」の職員全員で協力しながら行っている。

「かなえ」で過ごされる皆さんの日々の暮らしが穏やかでよりよいものとなるように、それぞれの専門職がそれぞれの力を発揮できるよう、これからも本人主体の個別の生活が実現できるよう皆で力を合わせていけたらと思う。



## 看護課

看護主任

藤重 美紀子

我が看護課は「かなえ」創立当初、常勤4名（その内1名はケアマネージャー兼務）という形で始まりました。何もない一からのスタートのため、現場の体制も整っておらず、物品も無く、人員不足のため夜勤や当直もしました。利用者の急変も多く、受診対応で日勤業務が深夜にまで及ぶ事もしばしば。医師・病院・薬局との連携方法も手探り状態のため、施設内外で何度も行き違いが発生しました。体制を軌道に乗せるまでには、互いに気の遠くなるような労力を必要としましたが、今振り返ってみると、自分たちで考え、選択し、作り上げていく、といった経験は滅多にあるものではなく、大変やり甲斐のある、有意義なものであった、と思うのです。

現在ケアマネージャーは看護課から独立し、構成人員は常勤4名、パート職員3名の計7名となりました。平成16年からは歯科衛生士も勤務しています。時代と共に法律も変わり、業務内容も変わり…色々な事がありました。しかし、「利用者様の健康管理に全力を尽くす」という思いは今も昔も変わりません。これからも精進していく所存です。

10周年おめでとうございます。



## 栄養課

管理栄養士

金本 晋二

「かなえ」の10年間の歴史の中で、私が所属している期間は半分に満たない程度ですが、その中でも様々な利用者様との出会いを経験してきました。

食事の好き嫌いはもちろんのこと、一日二食で朝ご飯は召し上がらない方、補助のためのゼリーのみを召し上がり食事をされない方など、給食を出す栄養士の立場として、どう対応すべきか戸惑う事もありました。

また、当初はとてもお元気で、大盛でご飯を提供しても足りないと言っていた方が嚙む力・飲み込む力の低下に伴い、最終的には胃ろうからの栄養剤投与となり、やる瀬ない思いをしたこともあります。

お一人ずつ違う嗜好や習慣を持つ利用者様が集まり、老いを迎えられる中で、その方に最適な栄養ケアは何か。それを提供するために、「かなえ」の資源をどう使うか。刻一刻と変化する情勢に対応すべく、新しく開発されるケア方法に聞き耳を立てながらこれからも研鑽を重ねて行く所存です。





## 機能訓練課

作業療法士  
久保 美咲

特別養護老人ホーム「かなえ」が開設し、十年目を迎えられる事を心よりお祝い申し上げます。

社会人としても、福祉事業に携わる人としても初めての状態であった自分が、「かなえ」に勤め始めて五年。右も左もわからないまま、ただ『入所者さんに対し何をしていけば良いのだろうか』ということを考えていました。身内が福祉事業に携わっていることや学校で学んだこともあり、知識・経験などが無いわけではなかったのですが、『入所者の方々』と向き合うことが怖く、また不安がたくさんありました。そんな自分ですが、入所者さんからもらう『ありがとう』や『楽しかった』の言葉や笑顔があり、他のスタッフの助けもあって「かなえ」での仕事を続けていくことができました。

「かなえ」は十年目を迎えましたが、これから先二十年、三十年と続き、地域やご家族の皆様、入所者の方々に必要とされる福祉施設であってほしいと思います。今後も「かなえ」が皆様にとってより良い施設(家)となるよう、スタッフ一丸となり努力していきたいと思っています。



## 介護課

介護課長  
吉岡 広美

2002年、3月に特養「かなえ」が開設して、翌年にユニット型特養を開始し、その日から理念である「人間尊重」を基本に「個別ケア」をハードとソフトの両面から展開をしていくという挑戦が始まりました。とはいえ開設当初、介護職員総勢39名(パート含む)。内、施設経験者11名(うち特養経験者2名)、新卒職員10名、未経験者18名という厳しいメンバーでのスタートでした。

開設して間もない頃は、苦労や失敗の連続でした。そして10年間、何人もの介護職員が入職しては辞めていくという現状を繰り返してきました。

しかし、介護職員一同「介護」において何が大切なのか一生懸命考えて日々取り組んできました。そして原点である「その人らしさ」「個別ケア」にこだわりを持ち続けてきました。頑張っていること、まだまだ進行形のことなどいろいろあります。ですが、入所者の方、一人ひとりが、「かなえ」の主人公として暮され、素敵な笑顔を見せて下さっていることが私達、介護職員の一歩の喜びであることを感じながら、これからもその笑顔を絶やすことがないようなケアを目指していきたいと思っています。



## 事務課

事務主任  
久行 洋

平成14年3月に施設の利用が開始になって、開設当初から在籍している私としては「もう10年も経つのか」という時の経つ早さに驚きを隠せません。

開設当初は手探りの状態から始まり、ただ夢中になって業務を行っていたものでした。

10周年を迎え、今日まで至ることができたのも、ご利用いただいている、またご利用があったご入所者やその御家族の皆様のご理解、ご協力が得られたのが何よりも大きかったと思います。また日常の業務で考えると、介護職員をはじめ、様々な部署の職員と連携しあい、「かなえ」をより良い施設にしていこうと励んできたその1歩1歩の積み重ねが今日に至ったのではないかと考える次第でございます。

私をはじめ事務職員は介護職員や他部署の職員が各自の業務に専念できるよう支えていく「縁の下力持ち」のような存在でありたいと考えております。

「かなえ」はまだ1つの通過点を過ぎただけです。これからも地域に根ざした施設として精進して参ります。



## グループホーム

管理者  
高橋 力

「かなえ」10周年を無事に迎えられた事、大変嬉しく思っております。また、これまで「グループホームかなえ」を支えてくださったご家族の方々、地域の方々、職員、そして何より入居者の方々には心から感謝を申し上げたいと思います。

「グループホーム」って何だろうか、「在宅」ってどういうことを言うのか、そんなところから職員間で話し合いながら開所の準備を進めていた頃がまるで昨日のことに思い出されます。あれから早10年…。振り返ると色々な場面や出来事、入居者の方々の笑顔などが脳裏に浮かんできます。正直つらいことや悲しいこともありましたが、自分自身は本当に充実した10年、感動をいただき成長させていただいた10年だったと思っております。

手前味噌ですが、「グループホームかなえ」には建物の木の温もりだけでなく、手作りの美味しい食事の温もりや、何よりもこの10年で培った人の温もりがあると自負しております。

これからも入居者の笑顔を大切に、そして更に10年後には今よりもっと地域に根差したグループホームとなれるように精進してまいりますので、関係者の皆様方には今後とも暖かく見守ってくださるようお願い申し上げます。



## 居宅介護支援事業所

介護支援専門員  
谷 美希

10周年おめでとうございます。

10年一昔といいますが、「かなえ」で働かせていただいたこの10年はとても早かった！

10年前、かなえ介護保険相談室への辞令は正直、「私にできるの?」と悩みながらのスタートでした。(今も迷走中ですが…) 職場や関係機関、他の先輩介護支援専門員の方にアドバイスやご指導をいただきながら、なんとか今日まで続いています。

不思議な事に、歴代かなえ介護保険相談室の介護支援専門員はなぜか血液型が全員B型！科学的根拠が解明されていないにも関わらず、血液型で人を分類するのはどうかという意見がありますが、かなえ介護保険相談室に関しては今のところ100%B型なのです。一般的には敬遠される傾向にあり、個人的でマイペースといわれるB型は意外と介護支援専門員向きなのかもしれません。

かなえ介護保険相談室介護支援専門員。これからも、どんな困難事例にもマイペースで対応していきます。(多分きっと…)



## 訪問介護事業所

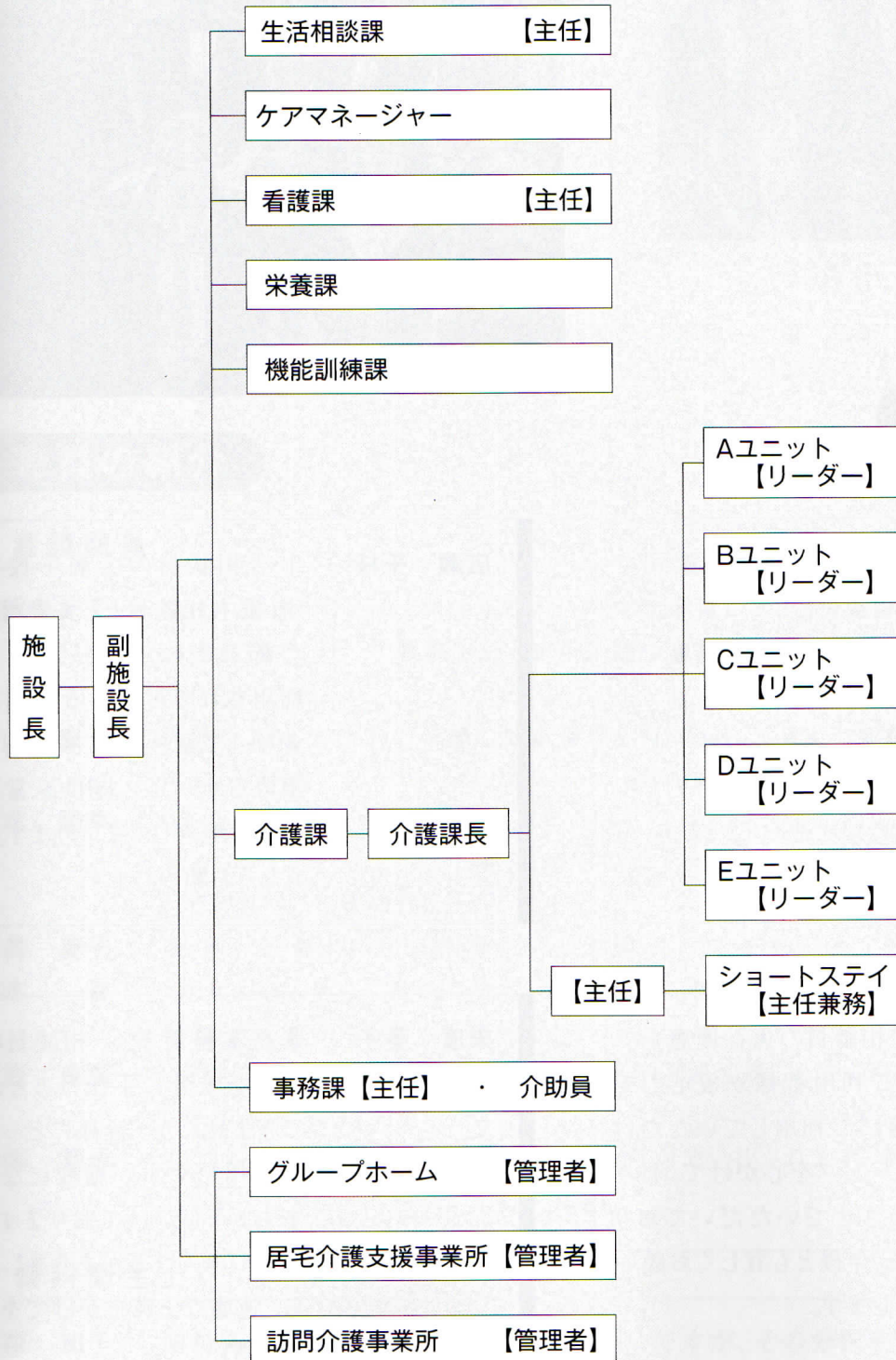
サービス提供責任者  
車田 榮子

平成14年2月1日、「かなえ」に就職した頃の私は、まだ、若かった！

10年の間に(笑い)しわを刻み、老眼鏡が手放せなくなった私に、人生の先輩である利用者様は、「50代は、花よ。」と言ってください。気を良くした私は、一生懸命働く。

特別養護老人ホームに3年10ヶ月勤務し、その後、ヘルパーステーションに異動となった。施設内の介護と、利用者様宅を訪問しての介護の大きな違いに戸惑いが大きかった。利用者様宅へ訪問するのであるから、それは、それは、「利用者様本位」の一言に尽きる。気に入られなければ、「帰れ。」である。あるお宅を訪問したときのこと、朝食の片付けをされているその人に見覚えがあった。ショートステイを利用されたことがあったのだ。ショートステイ利用中は、静かで活気を感じられなかったその人が、自宅では、なんと輝いて見えたことか。「介護が必要となった場合においても、可能な限り、その居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう援助するもの。」という訪問介護の基本方針を実感した瞬間であった。

# 各部署紹介



# 生活相談課

## 生活相談課の業務

入所申し込み関係、入所・退所の関連業務、ショートステイ利用に際してのご利用者様、ご家族様、居宅の介護支援専門員との調整、不在者投票時の手続き、カメラマンなど施設におけるさまざまなことに携わっています。



## 職員の紹介

**源内 崇司**… 生活相談員の源内崇司です。相談員としては新米ですがこれまで介護の現場で働いていた経験なども活かして円滑によりよいサービスが提供できるよう努力していきたいと思っています。宜しくお願いします。

**広瀬 千枝**… 生活相談員の広瀬千枝です。私も相談員としてまだまだ新米ですが、「かなえ」を利用されておられるご利用者様、ご家族様に満足して頂けるサービス提供を常に心がけ努力してまいります。宜しくお願いします。

**魚谷理恵子**… 生活相談員の魚谷理恵子です。ご利用者様が安心して快適にご利用していただけるサービスを心がけて、日々努めさせていただいております。今後とも宜しくお願いいたします。

**末廣 美子**… 兼務業務が多く、相談員の仕事を十分に手伝えることができませんが、皆様にとってご利用しやすい施設になりますよう心がけております。お気づきのことがありましたら、遠慮なく声をかけてをして下さい。

## 看護課・歯科衛生士

### 看護課の活動…利用者の体調管理

- ① 毎日の検温・体調チェック
- ② 体調不良時の嘱宅医への報告・受診対応・処置等
- ③ 年に1回の健康診断（胸部レントゲン、採血）
- ④ 年に1回希望者にインフルエンザ予防接種
- ⑤ 感染対策・褥瘡予防・ターミナルケア・吸痰・胃瘻注入等について介護職員への研修会開催など



### 歯科衛生士の活動

- ① 毎月1回歯科医師の定期検診の際の介助。
- ② 医務室には歯科治療台が設置されており、歯科医師が往診時に治療する際の介助。
- ③ 口腔ケアの実施。 ④ 歯科医師より、摂食・嚥下に関するアドバイスを受け、訓練の実施。

### 職員の紹介

#### 看護職員

- 藤重美紀子**… 私は中途採用のため、開設当初のドタバタは、ケアマネ&先輩から聞きました。お疲れ様でした…。職務を全うできるよう、まず自分の健康管理が上手に出来るようになりたいです。
- 片山 央子**… 開設時より、入所者の皆様の健康管理を行うと共に、安心して穏やかに暮らしていただけるよう努めてまいりました。あっという間の10年です。
- 山本 睦幸**… 「かなえ」が10周年を迎えるに当たって、一人でも多くの利用者様に第2の我が家とさせていただけるような介護・医療を提供できるよう、気持ちを新たにこれからも努力していきたいと思えます。
- 中島 慶子**… 歳のいった新人です。ご指導よろしくお願ひいたします。
- 山本 香**… 「かなえに入所して良かった。」とご本人、ご家族の方々にさせていただけるよう、日々努力してこれからも勤めていきたいです。
- 目貫 良恵**… 入社して9年。ご利用者の健康に気を配り、楽しく過ごしていただけるよう日々頑張っています。
- 手嶋 恭子**… もう10年？開設当初の様々なことが懐かしく思い出されます。今後も「かなえ」の一員としてがんばりたいと思えます。

#### 歯科衛生士

- 安森 知子**… 歯科衛生士は1名しかいないので心細いですが、その分医務室の看護職員やケアマネージャーにたくさん相談を持ちかけ、助けてもらっています。

# 施設介護支援専門員

## 活動内容

施設サービスをご利用の皆様のニーズに添いながら、日々支障なく暮らせ、少しでも自分ができることが続けられるよう支援していきます。

また、今まで過ごしてこられた人生の中での自分らしい暮らしが、できるだけ施設でも継続できるように多職種と連携しながら支援していきます。

## 具体的には

- ① ご本人、ご家族、多職種と相談しながら、ご本人にとってよりよい暮らしが営めるよう施設サービス計画書を作成いたします。
- ② 施設サービス計画書どおりに実施して効果を挙げているか、生活に支障はないか、変更点がないか多職種と一緒に確認します。変更点があれば、ケア調整などを行います。
- ③ 栄養ケア計画書・個別機能訓練計画書を多職種と一緒に作成いたします。
- ④ 市から委託された認定調査を行います。
- ⑤ ご本人、ご家族からお受けした相談や要望には、多職種と連携し（施設全体で）対応しています。
- ⑥ 多職種と連携し、日々、安心・安全に過ごしていただけるよう支援していきます。

# 栄養課

## 活動内容

最近の取り組みとして、多職種と協働のもと昼食バイキングを開催しております。  
旬の食材を使った料理やデザートを手数多くとりそろえ美味しく召し上がって頂いております。



バイキングや行事食はもちろんですが、普段の食事でも安心して美味しく召し上がっていただけるようこれからも努力して参ります。



## 職員の紹介

- 管理栄養士… 金本 晋二
- 栄養士… 三笹富美子
- 調理師… 長谷川由美 中川ゆかり 手島紀代乃
- 調理員… 八百谷照子 山本奈津江 寺島ふじの 西平 恵子
- 垣附 常子 村岡比登美 相本 敏子 中野 昭子



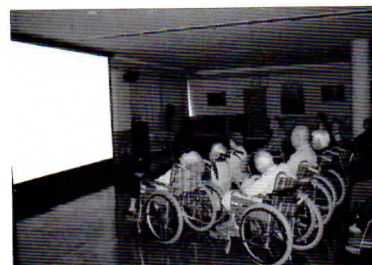
# 機能訓練課

## 活動内容

毎週月曜日～金曜日に各ユニットをまわり、入所者さんのリハビリに関わらせて頂いています。



- ☆体が硬くならないよう  
体を動かしたり、マッサージ
- ☆絵画教室(毎月第四水曜日)
- ☆映画鑑賞(毎月第四月曜日)
- ☆散歩
- ☆園芸(随時)
- ☆レクリエーション  
など、など…



入所者さんの楽しみが一つでも増えるよう新しい活動を増やしたくさんの笑顔が共有できる場を設けられるようこれからも機能訓練課として、できる活動を行なっていこうと思っています!!

## 職員の紹介

現在、機能訓練課は作業療法士1名、機能訓練指導員1名で成り立っています。

作業療法士の久保と言います。  
入所者さんの生活がより良いものとなるよう日々関わらせていただいています。



機能訓練指導員の井手です。  
「かなえ」に勤め始めて7年目になりました。  
毎日入所者さんの笑顔が見られるように頑張っています。



# A ユニット

## ユニット紹介



ホールでの様子です。

畳スペースで  
くつろぎのひと時です。



Aユニットでは、男性4名、女性12名、計16名の方が生活されています。ユニットの中央にはホール(食堂)が位置し、ホールを囲むように各居室があります。居室から出て来られると、直ぐそこには誰かの顔があり、賑やかな声が聞こえてきます。

ホールには、畳スペースもあり、我が家に居るかのように、座ったり、寝転がってテレビを見るなど、くつろぐ姿が見られます。

今後、環境面の整備にも力を注ぎ、畳スペースから見渡せるベランダを利用し、季節の花々を植え、皆様に眺めて、時には触れて楽しんで頂きたいと思います。

日中も居室で過ごされる利用者も少なくありませんが、どなたにとっても、Aユニットが気持ちの良い、安らげる生活の場であります様に、心を尽くしたいと思えます。温かい笑顔と、優しい眼差しに溢れたユニットに出来る様に、スタッフ一同努力して行きます。

ユニット入り口。  
時には、御家族とソファで  
くつろぎの時を。



ホールからは各居室へ  
直ぐに移動できます。

職員とも楽しい時間を  
過ごしています。



## A ユニット

### ユニット紹介

Aユニットでは、毎月おやつ作りをしたり、誕生日会を行い、入所者の皆様楽しんで頂いています。

時には、外出をしたり、屋上を散歩するなど、外の空気に触れ気分転換が図れるようにしています。四季折々の風景を見て、感じて、毎日生き活きと、楽しく暮して頂きたいと願っています。

また、3月には満100歳を迎えられる入所者様がおり、一足早くお祝いをしました。



お好み焼きを作りました。



誕生日会のプレゼント贈呈です。



蜂が峰のバラ園に行きました。



天気の良い日に屋上を散歩しました。



錦帯橋で犬と一緒に撮りました。



誕生日会の様子です。



100歳のお祝いの花束の前で記念撮影です。

## B ユニット

### ユニット紹介

はじめに、当ユニットは施設2階の南東に位置し、快晴の日には食卓に朝日が燦々と降り注ぐ気持ちの良い場所にあります。また、お部屋の廊下に隣接する一角のテラスには、外の景色を見渡せる程の大きなガラス扉があります。気分転換に一步、外へ出ると、ウッドデッキと共に花壇の花々や観葉植物が四季折々に出迎えてくれます。

現在、Bユニットでは、男性8名、女性8名の計16名の方が生活をされており、比較的、自立度の高い活発なユニットです。

入所者の方が生活させられるお部屋は、昔懐かしい和室をイメージとした障子が仕切りとなり、個人のプライバシー保護も考慮した落ち着いた空間となっております。

日々、ご家族の方も頻繁に面会に訪れて下さり、入所者の方やご家族の方のご意向を伺う機会も多く、大変感謝しております。

私達、職員もそのご意向に応えようと、日々、努力をしておりますが、まだまだ未熟ではあります。

今後も「関わり」、「触れ合い」を通して、入所者の方が「かなえ」で暮らせて良かったと思っていただけのケアが展開できる様、もう一度、初心に戻り、入所者の方、ご家族との「絆」を大切にするユニットを目指していきたいと思います。

Bユニット職員



## B ユニット

Bユニットでは、入所者の方々のご希望やご要望に対し、なるべく、お一人お一人のお気持ちに添える様、外出や誕生日会などを企画し、入所者の方にご満足いただき、また安心して安全に生活していただける様、職員一同努めてまいります。

### 料理作り

入所者の方のご希望を伺い、季節ごとの料理や手作りおやつを入所者の方と一緒に作りました。料理が出来ると皆様で美味しくいただきました。



### 外出

入所者の方と職員で、1対1での外出を季節ごとに楽しんでいます。入所者の皆様のご希望は様々で花見や紅葉がり、菖蒲や薔薇鑑賞等にもお出かけしました。



### 誕生日会

誕生日の入所者の方には職員全員で誕生日ケーキやプレゼントをご用意し、ご家族の方にもご連絡をして皆さんでお祝いしています。



# C ユニット

## ユニット紹介

開設時よりユニットケアに取り組んでいます。全部屋個室で現在12名の方が生活しておられます。家庭的な雰囲気の中で、ご入所者一人ひとりの生活ペースに合わせ、介護が必要になってもごく普通の日常生活を送って頂けるように職員全員で支援しております。

Cユニットでは昼食、夕食のみユニットで炊飯を行っています。これまでの習慣に添える関わりも大切にし、入所者様と一緒に施設の屋外で筍掘りをしたり、屋上で収穫された季節の野菜をユニットで調理し、召し上がっていただいています。旬の食材をその場で調理し提供するといつも以上に食が進まれる方もおられます。

筍掘り



じゃが芋収穫

## C ユニット

Cユニットの職員の中にはお菓子作りや、太鼓、音楽などそれぞれが得意な分野を持っており、イベントを企画し、入所者の皆様に楽しんで頂く機会を作っています。

ケーキ作り



敬老会

ご家族との外出の機会も減っている入所者の皆様に、楽しいひと時を過ごして頂けるよう、毎年春になると入所者の皆様や、ご家族、職員で花見に出かけます。普段は、交流の少ないご入所者様同士も外の空気に触れると自然と笑顔になり、会話も増えます。

お花見



## D ユニット

### ユニット紹介

Dユニットは、4人部屋の多床室が6部屋で、24名の入所者の方々が生活しておられるユニットです。かなえ内において最も大きいユニットになります。

職員は常勤8名、パート2名の10名で、24時間のお世話をさせていただいています。職員の年齢層は20代から60代までと幅広く、介護職の経験年数も新人から10年以上のベテランまで個性あふれる面々です。それぞれの個性や特技を活かして、チームワークをもとに日々の職務に取り組んでいます。

Dユニットに入ると、まず1階ショートステイからの大きな吹き抜けがあります。その周りを取り囲むように廊下があり、居室やトイレが並んでいます。そして、一番奥に入所者の方々の主な生活スペースとなるリビングがあります。リビングでは、食事をしたり、テレビをみたり、くつろいだりする、余暇を過ごす場所となります。時には、生活を共にするという意味で、入所者と職員と一緒に調理をしたり、おやつ作りをしています。

さて、ユニットケアというところでは、Dユニットは24名の入居でユニットとしては大きく、ユニットケアとは言えません。しかし、ユニットケアの目的である「個別ケア」を行うことは不可能ではないと思います。生活のために、必要なキッチンなど備えられたスペースで、いろいろ工夫して家庭的な環境を演出して、入所者の方々が自分の生活の場として感じていただけるように努力しています。

重度の方が多く、なかなか自分の意思での生活は送ることが困難ですが、できる限り一人ひとりの意思を尊重して、自立支援でいうところの入所者本位のケアを目指してユニットを運営していきたいと思っています。



Dユニットリーダー  
西村 大史

国立工業高等専門学校より進路変更し介護福祉士養成校を卒業し、「かなえ」オープンよりお世話になっています。

入所者の立場では安心して生活できる、家族の立場では安心してあずけられる、そんなユニットを目指しています。

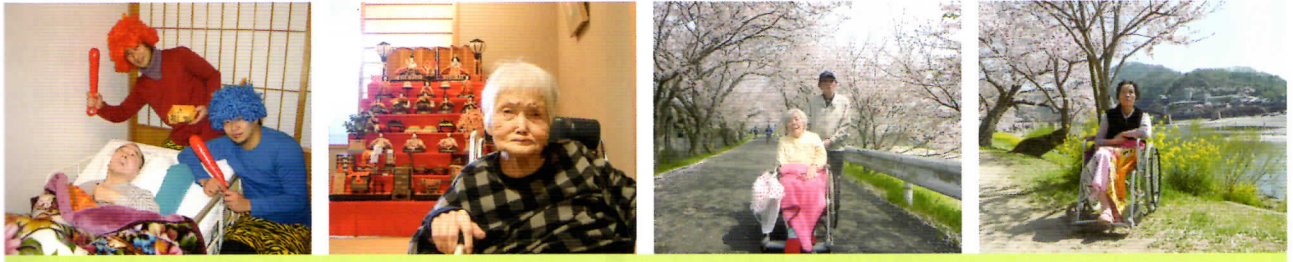


## D ユニット

一人ひとりの気持ちを大切にDユニットのこれまでの取り組み

### 響きあう、言葉と気持ち。

Dユニットでは、「一人ひとりの気持ちを大切に」生活をアシストすることが、生活への活力を生むと考えています。窓脇の観葉植物に水をあげたい、冷蔵庫からお茶を取りたいといった日常生活の動作を気持ちよくできる環境をつくること。我慢したり、億劫になったりせずにできる普段の生活動作そのものが身体を活動的にし、自立を促すのだと思います。



### 触れあう、人と心。

一日の流れの中で、屋上の畑で採れた野菜を使い、皆でお昼ご飯を作ったり、自分の趣味や特技を活かした活動を自由に行っています。集団で1つのレクをするのではなく、一人ひとりに合った時間の使い方、入所者同士、入所者と職員の家庭的な交流が生まれます。



### くつろぐ、時と場所。

介護は、人と人とのサービスです。入所者それぞれが自由と尊厳をもって、自分らしく生涯を心豊かに過ごしていただけますよう、スタッフ一同、心を通わせた温かい介護サービスをこれからも目指してゆきたいと思えます。



# E ユニット

## ユニット紹介

Eユニットリーダー 赤松 浩

Eユニットは、全室個室の12名の方が入所されておられます。1階で中庭があり季節の花が咲き、小鳥の鳴き声が聞こえる大変過ごしやすいユニットです。

環境面では、入所者様の目線に合わせ家具やテレビなどをレイアウトし、安心して居られる場所として、のれんやつい立を活用しプライベートの確保に努めています。また壁に飾る絵や写真も一枚ずつ額に入れて飾り、各居室の入所者様の表札も車椅子に座って見る時の目線に合わせた高さに掲示しています。

外出面では、近くに錦帯橋があり桜や紫陽花や薔薇や菖蒲や紅葉など季節の花々が多く咲き、四季を通して錦帯橋を観る事が出来て入所者様も楽しみにされています。

また、誕生日には自宅に帰って家族と過ごされたり、外食で好きなお寿司やうどんなどを食べに行く事もあり、入所者様やご家族の方も大変喜ばれておられます。ユニット内でもお菓子作りや西瓜割りやかき氷や季節の食材で料理を作って楽しんでいます。入所者様も昔を思い出し調理していただいたり、作り方が分からない時は教えて頂く事も多くあります。

ご家族の方々が遠方の為、面会が一年に数回の方のためにと、職員の方からユニットの活動情報を掲載した新聞を作成し家族へお届けしたら喜ばれるのではないか?という提案から、2ヶ月に一度「eこい新聞」という新聞を、あえてパソコンで作成せず職員の手書きで作っており、新聞を楽しみにされているご家族もおられます。

これからは、ソフト面で職員一人一人がユニットケアの意義を正しく理解した上で「個別ケア」を進めていく中で今まで以上にいろいろな面で大切な事がたくさん課題として挙がって来ると思います。

常に入所者様の立場にたって考えて検討解決して提供していきます。

ユニットの入所者様も開設当初からの方は、少なくなりましたが、退所された後でご家族の方からは感謝のお言葉をよく頂きます。人生最後の生活を支える大変重要な仕事をしている事も同時に考えながら、この仕事を誇りに思いこれからも継続して勤めたいと思います。

## E ユニット

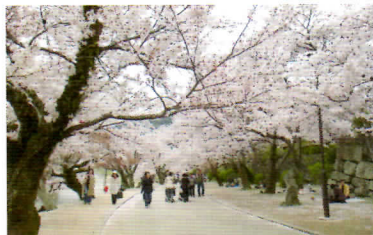
誕生日会で  
ご家族と一緒に外食する。



屋上や中庭を散歩する。



錦帯橋へ桜を見学に出る。



雛祭りでちらし寿司を作って食べる。



秋の大運動会の様子。



100歳のお祝い記念会の様子。



敬老会の様子。



2ヶ月に一度開催のスナックかなえの様子。



# ショートステイ

## ショートステイの紹介

在宅の要介護又は要支援の方々が、短期間の入所をされており日常生活上の介護・支援をさせていただいております。

ご自宅での生活の延長の様に、「かなえ」のショートステイになりますよう、生活パターンを把握し、環境を整え、可能な限りの対応をさせていただきます。



ショートステイ食堂



利用者様が書かれました。



# ショートステイ

## フラワーアレンジ

考えながら  
花を入れていきます。  
素敵な出来上がりで癒されます。



## 花見

お花見へ出かけています。



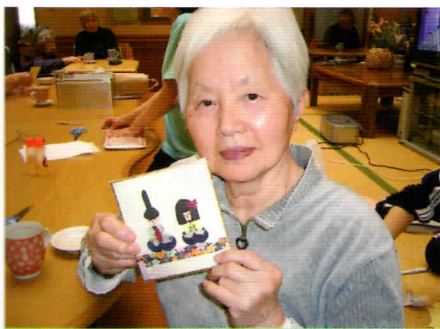
## スイカ割り

なかなかスイカが割れません。  
10人以上がスイカにヒットしたのですが・・・。



## 押し花

壁掛けやキーホルダー等作成  
しています。この壁掛けは第  
一号作品です。



## バイキング

3か月に一回の昼食バイキン  
グ。好きな食べ物を選びお  
かわり自由です。話しも盛り  
上がります。



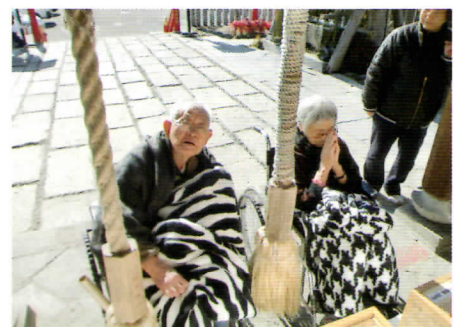
## 運動会

毎年ハッスルする運動会。  
皆さんの笑顔がはじけます。



## 初詣

お願い事が  
叶いますように・・・。



# グループホーム かなえ

## グループホームかなえでの暮らしについて

グループホームは介護保険の制度上、認知症の方を少人数で家庭的な環境の元、ケアを提供する「認知症対応型共同生活介護」と呼ばれています。「家庭的な環境」をどのように作るのかは事業所の立地条件や建物、方針などにもよって違ってきますが、かなえについては平成14年の開所以来、1日3食の調理を含めて家庭で行う家事全般を入居者と共に取り組んできました。また平成18年度の法改正の際には職員間で運営方針について話し合い、その人らしく暮らし続けることが出来るよう、「入居者にとっての『我が家』」となるよう支援することを運営方針としました。そんなグループホームかなえでの入居者の皆様の暮らしぶりや行事などについてご紹介したいと思います。

**暮らし** 出来ることのお手伝い、楽しみの支援、十人十色の支援を心がけています。



### 家事

出来ることは自分で。居室の掃除機がけもいい運動になります。



### 買い物

近所のスーパーでのひとコマ。カートを押しながら目移りしてしまいます。

### 食事

季節料理「喜代」さんのふく料理におもわずこの笑顔! 美味しい=幸せ!



### 仲間

仲良しのお二人のワンショット。気の許せる仲間がいることは大切です。



### 畑

裏庭の畑でのサツマイモ堀り。勿論収穫したものは料理に使います!



### 漬物

らっきょうの漬物の下ごしらえをしています。カレーの時には欠かせません!

**家族とのつながり** かけがえのないご家族との絆は誰にとっても心の支えです。



### お花見

毎年ご家族と錦帯橋へお花見に出かけています。



### 敬老会

毎年敬老の日にご家族と食事会をしています。H23年は回転寿司のケータリングが大好評でした。

### 紅葉狩り

紅葉谷公園でのひとコマ。この後は「半月庵」でご家族と一緒に食事をしました。



毎年お一人お一人に写真アルバムを贈呈させていただき、ご家族と一緒に見てもらっています。



# グループホーム かなえ

**地域とのつながり** 少しずつではありますが、地域とのつながりが広がっています。



### 運営推進会議

2ヶ月に1回、地域の方、ご家族、行政の方を交えての会議が義務付けられています。いろんなご指摘をいただき、サービスの向上につなげています。



### どんど祭り

毎年錦見地区のどんど祭りに参加させていただいています。

### 生花教室

釜瀬先生よりいつも季節ごとの素敵な手作り花器をいただいています。



### なごみ亭

ホームでは作れないようなプロの洋食をケータリングでいただいています。



**行事** 慣れ親しんだ季節感のある行事に取り組んでいます。



### ぼた餅作り

春

お彼岸には欠かせないぼた餅を作っています。やっぱり手作りは美味しい!



### 花火

夏

毎年玄関前で花火をしています。風流な線香花火が一番人気です。

秋

### 干し柿作り

高齢者に大人気の干し柿。口に入るまで干している間が待ち遠しい!



冬

### クリスマス会

これまでビンゴや手品、演奏などいろいろな催し物をしています。



**おでかけ** 市内は無論のこと、宮島、大島、柳井など色んな所に出かけました。



### 宮島旅行

平成16年の秋にご家族との日帰り旅行で宮島まで行きました。

### 柳井フラワーランド

平成22年の10月にある入居者の里帰りを兼ねて行ってきました。



## おわりに

この10年間、これまでグループホームかなえを支えてくださったご家族の皆様、地域の皆様、そして入居者の皆様、本当にありがとうございます。これからも皆様への感謝の気持ちを忘れることなく、日々精進していく所存ですので今後とも暖かい見守りと応援をよろしくお願いいたします。

# 事務課

## 事務の日常業務

- 窓口対応 ●会計処理
  - 介護保険、利用料請求
  - 勤務に関する書類チェック・処理
- 他にも消耗品の在庫確認及び注文なども行っております。

## 介助員の日常業務

- ショートステイの入退所時の送迎運転
  - 特養入居者の病院受診時の運転
  - 施設内の設備の補修、点検
- 社用車の手入れや施設周辺の美化活動も行っております。

## 職員の紹介

久行 洋  
(事務主任)

業務内容  
・介護保険の請求業務、勤務に関する書類のチェック（勤怠管理や勤務表作成など）  
・保険請求内容からの入金の確認、利用料の入金整理  
・忘年会などの職員行事の幹事  
・運転業務のフォロー、社用車のメンテナンスの管理  
・職員の給与計算、雇用保険手続き、必要物品の注文  
他の事務職員に助けられつつ、日々業務に励んでおります。

牧平 善恵  
(事務)

業務内容  
・会計業務の管理全般 ・職員の給与計算、社会保険や退職金手続きなど  
・業者への支払い、通帳管理  
事務全体のフォローをきっちり行っています。

森下 由香  
(事務)

業務内容  
・介護保険請求に係る請求ソフトの実績入力、さまざまな書類の整理  
・窓口に近いので、窓口への対応は1番多く行っております。  
事務の縁の下の力持ち的存在です。

村岡 拓也  
(介助員・  
防火管理者)

業務内容  
・ショートステイの送迎や入所者の病院受診時の社用車の運転  
・施設内の設備の点検、補修  
様々な観点や豊富な経験から、施設設備維持管理のための提言を行っています。

田中 孝幸  
(介助員)

業務内容  
・ショートステイの送迎や入所者の病院受診時の社用車の運転  
・施設内の設備の点検、補修  
オープン当初からの生え抜き職員。施設の設備内容は何でも聞いてください。



## 居宅介護支援事業所 かなえ介護保険相談室

### 業務内容

在宅の要介護の方々、利用者本位で安心した生活が送れるように介護支援専門員が介護に関する相談に応じます。さまざまなサービスの紹介、サービス利用に際しての調整、各サービス事業所との調整、サービスを利用する為のプラン作成、サービスに係る費用の計算や請求、住宅改修の為の理由書の作成などを行います。

サービス開始後も、利用者サービス事業者などと連絡をとり、状況の変化や不都合がないかを確認し、状況に応じてプランの内容の変更などの対応をします。また、認定の更新申請の手続きも代行して行うことも出来ます。当事業所では、毎週居宅会議を行い職員間での情報を共有したり、事例検討なども行っています。

24時間連絡がとれる体制もとっています。

- 介護保険に関すること
- ケアプラン（介護支援計画書）の作成
- 介護機器、用品の紹介、調整
- 介護の悩み
- 介護方法に関すること 等

### 職員の紹介



末廣 美子

管理者・主任介護支援専門員  
介護支援専門員歴：10年

今は兼務のため受け持ちの利用者様も少ないですが、在宅生活を続けられるようにお手伝いが出来ればと、日々走り回っています。



谷 美希

主任介護支援専門員  
介護支援専門員歴：10年

落ち込むことも多い日々ですが、利用者さんらしい生活が送れるように、これからも和顔愛語でお手伝いしていきたいと思えます。



村岡奈保美

介護支援専門員  
介護支援専門員歴：3年

みんなに助けられている毎日ですが、少しずつではありますが成長していくことができると思っています。



河岡 緑

介護支援専門員  
介護支援専門員歴：8年

利用者・ご家族が笑顔になれるように、と思って仕事をしています。良い雰囲気の中で働かせてもらい、感謝しています。

## [訪問介護事業所] ヘルパーステーション かなえ

### 活動内容

介護が必要になった場合においても、可能な限りその居宅において、生活していただくための支援をしております。利用者様の心身の状況に応じ、掃除、洗濯、調理、買い物などの生活援助、入浴、排泄、食事、デイサービスへ行く身支度などの身体介護があります。家族の方や担当の介護支援専門員、他関係機関などと連携を取りながら、利用者様のニーズに合わせて支援しております。サービス提供責任者2名と登録ヘルパー7名の小規模ではありますが、月1回のヘルパー会議と年間10回程度の研修を行い、質の高いサービスが提供できるように、情報を共有し、チームワークの充実に努めています。

### 職員の紹介

#### 車田 榮子

サービス提供責任者

資格：介護福祉士、ガイドヘルパー

介護保険制度開始と共に介護の仕事に携わってきました。

60歳になるまで、ヘルパーの仕事ができたらと思っております。

#### 松岡 宣子

サービス提供責任者

資格：介護福祉士

利用者さん、良きスタッフとの出会いに感謝し、笑顔でサービス提供しています。利用者さんに合わせて話題作りを心がけています。

#### 藤崎 元子

ヘルパー歴：9年

資格：ヘルパー2級

「笑顔で接する」をモットーに、利用者さんの話しに耳を傾けながら、お手伝いさせて頂いています。

#### 森近 栄合子

ヘルパー歴：8年

資格：介護福祉士

利用者さんから教わるのが沢山あります。

初心を忘れず、笑顔で触れ合っていきます。

#### 阿部 ひとみ

ヘルパー歴：8年

資格：ヘルパー2級

「明るい笑顔で」を心がけています。明るい色の服を着用して、可愛い5本指の靴下を履いて話題作りをしています。

#### 米田 由美子

ヘルパー歴：8年

資格：ヘルパー2級、ガイドヘルパー

いつも笑顔で、返事は、「はい!」を心がけ、できることはしっかり声かけして、日々自分らしく送って戴けるようにお手伝いさせて頂いています。

#### 岩本 まり子

ヘルパー歴：7年

資格：ヘルパー2級

初心を忘れず、利用者さんの気持ちに添えるよう、お手伝いさせて頂いています。

#### 星野 孝子

ヘルパー歴：7年

資格：ヘルパー2級

人生経験豊かな利用者さんの話を聞くのが楽しみです。

頑張っておられる姿に元気を頂いています。

#### 本間 あや子

ヘルパー歴：3年

資格：ヘルパー2級

念願のヘルパーの仕事に就きました。自身の体調管理をしながら、一日でも長くこの仕事を続けていきたいです。

# 施設の催し物

1月・2月・3月



お屠蘇



初詣



初詣



誕生日会



節分



スナックかなえ



スナックかなえ



ひな祭り



絵画教室

1月～6月

4月・5月・6月



花見外出



絵画教室



誕生日会



喫茶かなえ



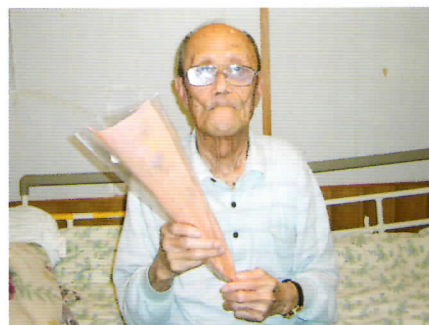
母の日



昼食バイキング



絵画展見学



父の日



クリーンディ

# 施設の催し物

7月・8月・9月



昼食バイキング



絵画教室



喫茶かなえ



スナックかなえ



夏まつり



夏まつり



花火大会



敬老会



クレープ作り

・7月～12月

10月・11月・12月



運動会



外出



たこ焼き作り



カレー作り



外食



曙東自治会合同交流会



曙東自治会合同交流会



あけぼの保育園来所



餅つき

10周年記念誌

# 10年のあゆみ

発行日／平成24年3月

発行／社会福祉法人 鼎会

〒741-0061 山口県岩国市錦見三丁目7番55号

印刷／ヨハネ印刷株式会社

